

2011秋季闘争

統一行動の遵守で早期決着をめざす



Sグループ会議で妥結目標を確認した

年末一時金の妥結目標

◎前期実績を確保し、さらに上積みをはかる

参加者から、企業状況と交渉内容について報告を受け、意見交換を行った後、2011秋季闘争の集中決着日にむけての意思統一をした。この中で、組合間の連絡を密に

組合間の連絡強化と決着に向けた意思統一

「Sグループ会議」に、会議の開催にあたり、納得できる内容で妥結し、全国から16組合、紙パ連合本部を含めて全体で25名が参加し、今後の交渉に向けて意思統一を図るべく、意見交換を行った。

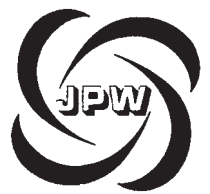
「Sグループ会議」に、会議の開催にあたり、納得できる内容で妥結し、全国から16組合、紙パ連合本部を含めて全体で25名が参加し、今後の交渉に向けて意思統一を図るべく、意見交換を行った。

2011秋季闘争は、集中決着日に設定した11月2日から4週間が経過した中で、年末一時金交渉にとりくむ44組合のうち11月25日現在、24組合が回答を引き出しています。現在までの回答状況をみると、企業業績にばらつきはあるものの、10月29日に開催したSグループ会議で、ヤマ場に向けた意思統一として確認した内容に沿って交渉が進められています。

Sグループ会議で 共闘強化を確認

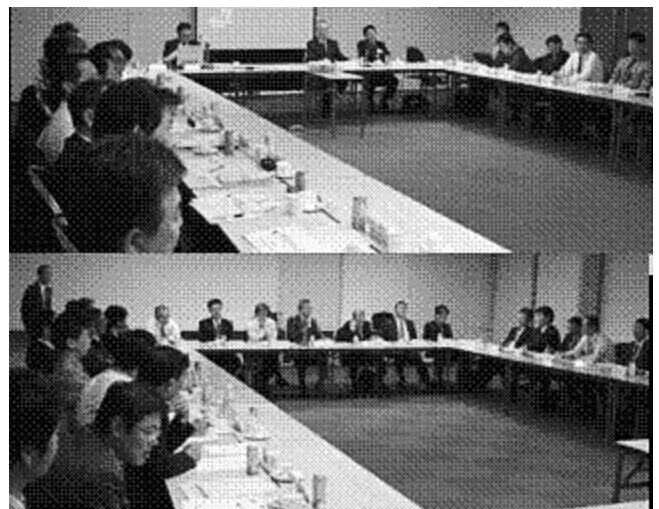
紙パ連合

発行所
日本紙パルプ紙加工
産業労働組合連合会
〒107-8333 東京都港区北青山
2丁目12番4号
TEL 03-3402-7656
FAX 03-3402-7659
URL <http://www.jpw.or.jp/>
発行人 鈴木辰男
購読料は組合費を含む
定価2頁10円、4頁20円



第27回

紙パルプ産業労使懇談会ひらく



高齢者雇用の意見交換

11月16日、日本製紙連合会・3階会議室で第27回産業界労使懇談会を開催し、各組合の委員長と人事担当役員（部長）が出席した。昨年引き続き、中執組合の労使を中心に出席し、現在の特格的な取り組みや諸課題について論議した。今回は、現在取り組み中の60歳以降の継続雇用制度にも関する高齢者雇用について、その後の、2013年問題といわれる厚生年金の支給年齢の引き上げ、現在の継続雇用者の状況や継続雇用を希望する割合などについての意見交換をした。

紙パ連合 2011年年末一時金要求・回答・妥結状況 (11/25)

	要求		提出日	回答		回答日	2011夏 妥結(円)	2010冬 妥結(円)
	金額(円)	月数		金額(円)	月数			
【Hグループ】								
巴川製紙所	年間5ヵ月			580,000	1.83	11/2 *	650,000	580,000
リテックオーレスト	750,000		10/18	740,000	2.64	11/1 *	750,000	750,000
南光運輸	569,280	2.5	10/14	380,000	1.67	11/2 *	420,000	500,000
ニッポン高度紙	業績連動			業績連動			業績連動	業績連動
【北海道地本】								
北旺運輸	510,000	(2.47)		403,000	1.95	11/21 *	368,000	393,000
北海道運搬機	650,000	3.25	10/31	513,769	2.57	11/18		
【東北地本】								
大昭和ユニボード	(516,226)	2.0	10/25	500,000	1.97	10/26	500,000	500,000
【東海地本】								
東京製紙	500,000	(2.17)		460,000	1.95	10/18 *	460,000	440,000
【北陸地本】								
チューエツ	560,057	2.5	10/14	405,000		11/2 *	41万+2万	40万+2万
加賀製紙	720,000		10/14	460,000	2.21	11/17 *	460,000	460,000
立山製紙	720,000	(3.01)	10/14	400,000		11/25 *	410,000	400,000
ショウワノート	(603,477)	2.5	10/14	(603,477)	2.5	11/7 *	2.8ヵ月+α	2.5ヵ月
三洋製紙	45万円以上			330,000		11/9 *	330,000	325,000
中川製紙	720,000	(2.68)	10/中旬	488,500	1.82	11/1 *	405,000	488,500
【関西地本】								
大阪製紙	690,000	(2.5)	10/14	560,000	2.02	11/16 *	560,000	550,000
美鈴紙業		2.5		540,000	2.33	11/4 *	540,000	530,000
日本包装容器		2.3		503,508	1.8+1万	11/17 *	404,776	393,189
協和工機		2.5		410,000		11/2 *	415,000	402,000
【中国地本】								
三洋製紙	年間5ヵ月			520,946	2.14	11/24 *	521,834	524,101
【四国地本】								
三木特種製紙	670,000	(2.85)	10/28				560,000	575,000
（紙トヨ）	年間133万円			560,000	2.1	11/1 *	565,000	565,000
【紙パ愛媛地区】								
金柳製紙	660,000		10/17	475,000	1.82	11/2 *	485,000	485,000
城山製紙	710,000	(2.71)	10/17	438,500	1.67	11/20 *	445,000	445,000
愛媛パルプ	660,000	(3.0)	10/12	410,000	1.86	11/2 *	405,000	440,000
【九州地本】								
松木産業	500,000	2.50	10/11	360,000		11/9 *	340,000	360,000
九州チューエツ				230,000	1.11	11/4 *	25万+1万	290,000

第8回中小組合トップセミナー 職場に足を運び組合員の声を聞く



大勢の前で話すことを経験した

「第8回中小組合トップセミナー」を11月18日、「ホテルクライトン新大阪」で開催し、70名が参加した。今回のセミナーは、3年未満の組合役員を対象に「若手組合員の育成」をテーマとして講演とパネルディスカッションを通して、組合役員としての「心構え」「学習」「経験」などについて意見交換をした。

◎基本に立ち返り実践を冒頭、清水中小労働委員会委員長から「各組合では若手役員の育成に苦勞している。会社の育成は明確な方法もあるが労働組合は難しい。こうした状況で、労働組合の基本に立ち返ることが大事だ。そして、ここで得たことを組合役員として自分なりに考え、実践してほしい」と挨拶した。

◎全員を前に自己紹介 若い組合役員には「書くことが、責任ある行動容姿、服装も大事である」。



自分の成長のために講義を受ける

「自分が辞めると執行部全員の辞めると言われる。また、若い人に経験を積ませるために、紙パ連合や地本の学習会に参加させている。

若手役員の育成には、学習会への参加は大事だが職場を離れることが難しくなっている中で「参加した会議等の内容を「日ユース」している」「日

多いが、組合役員になると大勢の前で話す機会が多くある。そこで、場慣れを積むことと役員就任動機や悩みを発表しあうことで問題の共有化を目的に全員がステージ上で自己紹介をした。

◎頼まれていた時が華 鈴木委員長は講演では若手組合役員に必要な心得として「労働組合は経営者とは節度ある緊張関係が必要であり交わって離れてはいけない。組合員が助けを求めてきた時、労働組合は最後まで守り抜く気概も必要だ。組合役員になった動機は、委員長に頼まれ嫌とは言えない人が多いが「人間、頼まれていた時が華」と思い「自分が主役」の意識で、パネラーに中小労働委員、コーディネーターを鈴木委員長がつとめ

「若手役員をいかに育てるか」をテーマとした。パネラーから「若手組合役員育成方法と問題点」では、「育てた役員が会社に引き抜かれた」「自分が辞めると執行部全員の辞めると言われる。また、若い人に経験を積ませるために、紙パ連合や地本の学習会に参加させている。

また、職場に行き現物を常的にいろいろな活動の教育宣伝を行っている」などにより職場の理解を求めている。また、「大きな問題が生じた時に組合員は組合を頼る。その時の委員長の決断は家族の生活にも影響する、そのためには平素から組合員をまとめておくことが大事だ」などの意見が出された。また、組合役員として会社との交渉では、身近なことから学習する必要があり、就業規則や労働協約に目を通しておくことが大事だ。

最後に鈴木委員長が「労働組合が必要かの問いに、『必要』と答えたのは90%だ。組合役員に就任する人は少ないが、就任した以上は労働組合の原点は職場であることから、職場に足を運ぶ、組合員に組合事務所にきてもらうなどコミュニケーションをとり、また、行事に参加してもらうなど工夫が必要だ」とまとめた。

何と知らないのに、今期書記長になりました。何を勉強したらいいのかわからない中で時間だけが過ぎました。しかし、今回のセミナーで何をやるべきかが見えてきました。私の組合では、40代が少なく、30代で仕事ができる人に組合役員をお願いしてもなかなか引き受けてくれません。私のような20代が執行部に入ると若返り過ぎて会社側に見下されないかという不安もあります。

組合として教育面の活動はしていないので、今は学習会等をひらき、組合員に組合の大切さを伝えたいと思います。

参加者の「コエ」若手組合役員を育成するために

学習会を開催したい

立山製紙労組 尾島 貴司

知識と責任を持つ

安積濾紙労組 小田垣 夏子

理論を身につける

アテナ製紙労組 田頭 直人

人間関係をつくる

愛媛製紙労組 土肥 敬三

積極的な行動を

鶴翔労組 秦 康雄



経産相の坂本課長から製紙業界の現状をわかりやすく説明

【講演】わが国の製紙業界を巡る現状

経済産業省、紙業服飾品課課長坂本敏幸氏から「わが国の製紙業界を巡る現状」についての講演あり、わが国の紙パルプ産業の概況として「わが国の紙パルプ産業は木材チップから紙まで一貫生産方式で副産物としてバイオマス燃料として活用

今年度から副委員長を務めることになり、初めてセミナーに参加しましたが、組合役員の自覚が高まるためにも勉強になりました。鈴木委員長の講演では、組合役員としての心得を再認識しました。特に賃金交渉では、交渉を任せられた立場として、大変参考になりました。また、「春闘交渉に知識がないと組合員に説明がつかないので、要」ということは目から鱗が落ちました。これから、がむしゃらに交渉していましたが、今後製紙業界の歴史や現状をわかり易く説明してもらい全体を把握することができました。この経験を仕事面と組合活動に生かしたいと思います。

今回のセミナーを通して、執行委員の自覚を持って取り組んでいきたいと思っています。

私はまだまだ未熟ですが、執行部の一員として今何をしなければいけないのか、どうしたいのかを考え、節度ある労使関係を保ち、組合員の生活が少しでもよくなるように頑張ります。

「夢は叶うかわからない、しかしやらなければ夢は叶わない。やる気があるか無いかの問題、やらないのが一番ダメである」を心に受け止め、積極的に行動に移したいと思っています。